

平成29年度（神奈川県立霧が丘高等学校）不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
公務外非行の防止 （法令遵守意識の向上）	信用失墜行為についての理解を深め、公務員としてのいっそうの自覚を促す。	62名の職員が研修に参加し、チェックリストを含めた啓発資料を通して公務外非行の実際について理解を深めた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為についての認識を深め、生徒が被害にあった場合の対応を確認させる。	60名の職員が研修に参加し、啓発資料や具体的な報告事例を用いて実践的な職員研修を行い、認識を新たにした。
体罰・不適切な指導の防止	生徒・保護者の信頼を損なう体罰についての理解を深め、毅然とした適切な指導との違いを意識させる。	58名の職員が研修に参加し、夏季休業中の部活動における体罰について、具体的な事例を通じて意識付けを深めた。
会計事務等の適正執行	公正な会計処理を行うため、私費会計基準について周知を図り、適切な事務の方法を理解させる。	59名の職員が研修に参加し、諸会費の徴収や日常の会計処理についてミスしないための方法を十分に学んだ。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	定期試験の答案用紙等の紛失などの注意を徹底し、個人情報保護と情報セキュリティに関する意識を高める。	56名の職員が研修に参加し、成績処理や個人情報に関する事故事例を学び、事故の未然防止への意識を高めた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転の防止、交通法規の遵守	飲酒運転による交通事故・交通違反の代償の大きさを認識させ、交通法規の遵守について徹底を図る。	64名の職員が研修に参加し、啓発資料をもとに事故とその代償について具体的に学び、意識付けが図られた。
業務執行体制の確保等	日頃から情報共有を図り、学校内外の状況を把握し、点検することの大切さを認識させる。	60名の職員が研修に参加し、お互いに情報共有すること、報告しあうことの重要性を話し合い、認識を深めた。
調査書・通知表等の作成、成績処理に係る事故防止	定期試験や成績処理の事故防止について理解を深め、確認・照合作業の徹底を図る。	56名の職員が研修に参加し、チェックリストを含む啓発資料により、ミスの未然防止について共通理解を図った。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	生徒や保護者との信頼関係を損なうことのないよう、調査書作成や推薦入試等の確実な業務遂行を図る。	60名の職員が研修に参加し、進路関係の事故事例を学びあい、複数名による確認・照合作業の大切さを認識した。
入学者選抜に係る事故防止	個人情報の保護を遵守し、公正な入学者選抜を行うための共通理解を図り、事故防止を徹底する。	60名の職員が研修に参加し、マニュアルに基づく業務の徹底を図るとともに、公正な業務を行う責任の重さについて共通理解を図った。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

（学校長意見）

平成29年度は上記のように10回にわたり、各グループによって具体的、実践的で充実した不祥事防止研修を行うことができた。また、職員会議や朝の打合せ等を利用し、管理職から細かいことについて注意喚起を継続し、一定の成果があったと思われる。平成30

年度は定期試験の採点日を設けるなど、さらに個人情報等の管理を重視し取り組んでいきたい。